

憧れの縦走、八峰キレット

山行日 2019年8月2日(金)～8月5日(月)

憧れの縦走へ

もういくつ寝ると…そんな感じで今回の山行を待ち望んでいました。私にとって初の本格縦走、初の3泊4日、初のキレット！ということで、とても楽しみでした。不安もありましたが、余裕のある日程なのでゆっくり行けると思いました。数日前から睡眠を多くとり、前日の仕事は残り番を先輩に代わってもらい、体調も整えました。パッキングを早々に終え、準備万端で臨みました。

8月2日(金) 晴れ 扇沢 9:45—種池山荘 14:50

柏原新道は「良く整備され登りやすい」とのこと。樹林帯を登り振り返ると扇沢の駅が見えました。かなり登ったなあと思っていると両足がつる寸前となり、芍薬甘草湯を服用し、岩塩をなめ、水をゴクゴク飲みました。最終的に荷物を分散してもらい、どうにか歩けました。ああ、初日からまたやってしまった…自分の力で歩きたかったのに…かなりがっかりしましたが、「経験が足りないだけ。経験を積めば大丈夫」と先輩方に励まされ気を取り直しました。種池山荘直下ではけっこうきつくなりましたが、きついのは小屋が近い証拠だ、と思い登りました。山荘では3日間のうち一番寝るスペースが狭く、どうにか寝返りが打てるくらいでした。その夜は雷と大雨に見舞われました。



爺ヶ岳を後にし鹿島槍ヶ岳を目指す。こんなところを歩いてみたかった

8月3日(土) 晴れ 種池山荘 5:10—爺ヶ岳 6:00—鹿島槍ヶ岳 10:30—キレット小屋 13:35

立山、剣を向こう見ながらに緑の稜線を進んで行きます。振り返るとメルヘンチックな種池山荘がちょこんと見えます。こんなところを歩いてみたかったのです！鹿島槍ヶ岳で広谷さんとお別れし、いよいよヘルメットを装着、キレットに突入です。いつも夢中で歩いてしまい景色を覚えていないことがあるので、時々立ち止まり、振り返りながら進んで行きました。でもやっぱりあまり覚えていません。キレット小屋が下方に見えてきましたが陰しいのでなかなか着きません。小屋の前で「NAGANO PATROL」と書かれたTシャツを着たお兄さんがこちらを見張っていたので、そこが一番緊張しました。小屋に着き、皆で炭酸ジュース

を飲みました。500ml、500円。歩いた後の炭酸はとてもおいしいです。夕方ふと外を見ると、静謐の中、夕闇と三日月、雲海に浮かぶ剣岳がとても幻想的でした。小屋の上段部屋に上がるハシゴは垂直で、八峰キレットの中で一番怖いハシゴだと思いました。

8月4日(日) 晴れ キレット小屋 5:10—五竜岳 10:25—五竜山荘 11:50

キレット小屋を過ぎても険しい道が続きます。少しでも岩のトレーニングをしておいて良かったなあと感じました。そんな中で可憐な花々がちょこちょこ顔を出しています。それは私にはマラソンランナーを応援する沿道の人々のように感じられ、「頑張れ、頑張れ」という声が聞こえるようでした。

そして…やりました！五竜岳山頂に着きました！岩にへばりつき、鎖をたどり、ハシゴを伝い、ついにここまで来たのです！リーダー、そしてメンバーと握手をし、登頂を喜びました。五竜岳ってこんなに険しい山だったのだなあ…！剣岳はガスの中に見えたり隠れたりしていました。あとはほぼ下りですが、最後まで事故のないように気をつけなければいけません。五竜山荘は3日間のうちで一番寝るスペースにゆとりがありました。

8月5日(月) 晴れ 五竜山荘 5:10—大遠見山 7:05—白馬五竜植物園 9:40

五竜山荘を過ぎてからもまだ岩場なの？と思いつつ下って行きました。次第に白馬三山が見えてきました。昨年、白馬方面からこちらの山々を眺めたことを思い出しました。その時は今年ここに来るなんて思っていませんでした。白馬五竜植物園に到着すると、今が見頃のシモツケソウが私たちのフィナーレを祝ってくれているかのようなようでした。さっきまであと3日くらい歩きたいな、と思っていたのですが、植物園についた途端足が痛くなりました。これが私の足の限界でした。

今回の山行は私にとって初めてだらけの挑戦でしたが、先輩方の助けによって無事に歩き通すことができました。険しい岩の道を歩き五竜岳山頂に着いた時は本当に嬉しかったです。思い出に残る山行となりました。どうもありがとうございました。

